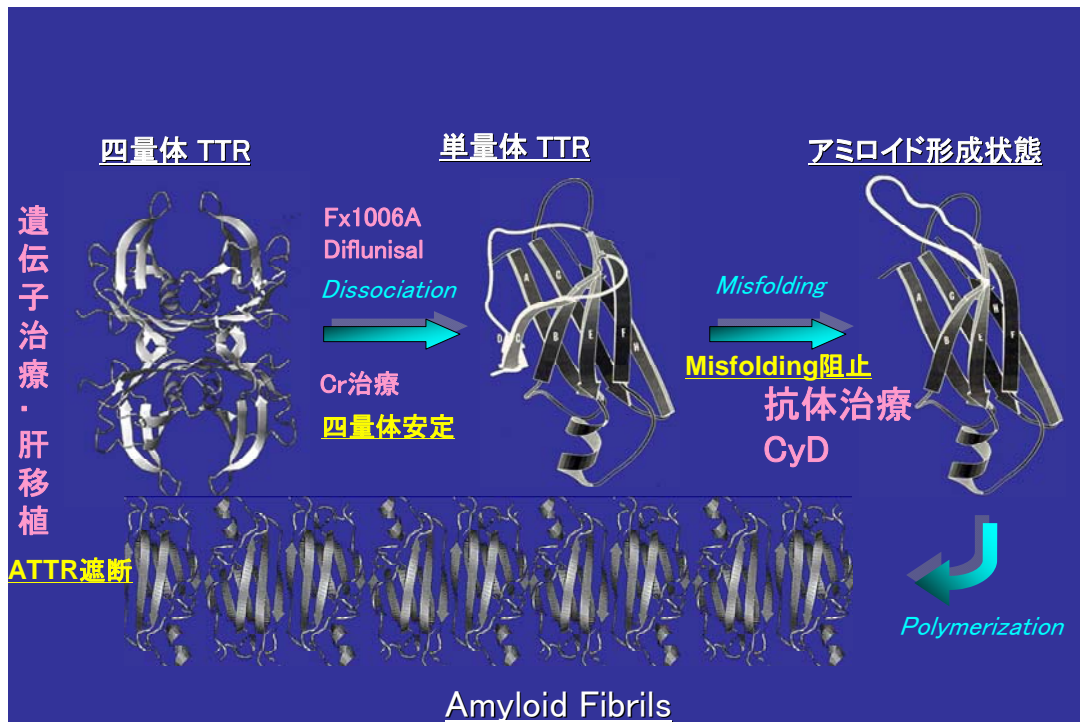


アミロイド線維形成機構をもとに進行している研究

熊本大学大学院医学薬学研究部・病態情報解析学分野教授 安東由喜雄



成果

1. ATTRを抑制する遺伝子治療としてsiRNAを用いた動物実験が進行し、肝臓で産生されるATTRの90%が抑制されている。
2. Misfoldingをマスクする抗体TTR115-124が、トランスジェニック・ラットのTTR沈着を抑制することが判明し、本抗体を用いたFAP患者の治療が化血研との共同研究で進行中である。
3. Misfoldingを抑制するシクロデキストリン(CyD)がin vitroの研究で、TTRのアミロイド化を有効に抑制した。